

地域高規格道路 松本糸魚川連絡道路 安曇野市 新設区間（安曇野道路） 計画説明会

説明会
配布資料

令和5年11月

長野県 安曇野建設事務所

安曇野市役所 都市建設部



現段階の設計を基に作成したフォトモンタージュです。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

<説明会の内容>

1 開会

2 あいさつ

3 説明事項

(1) 安曇野道路

1) 事業概要（過去の経過含む）

2) 設計概要（道路構造や市道付替え等）

3) 調査予定（路線測量・環境調査等）

今後の進め方

(2) アクセス道路等（市道）

1) 道路計画

2) 今後の予定

意見交換等の
主な対象項目

4 意見交換等

5 閉会

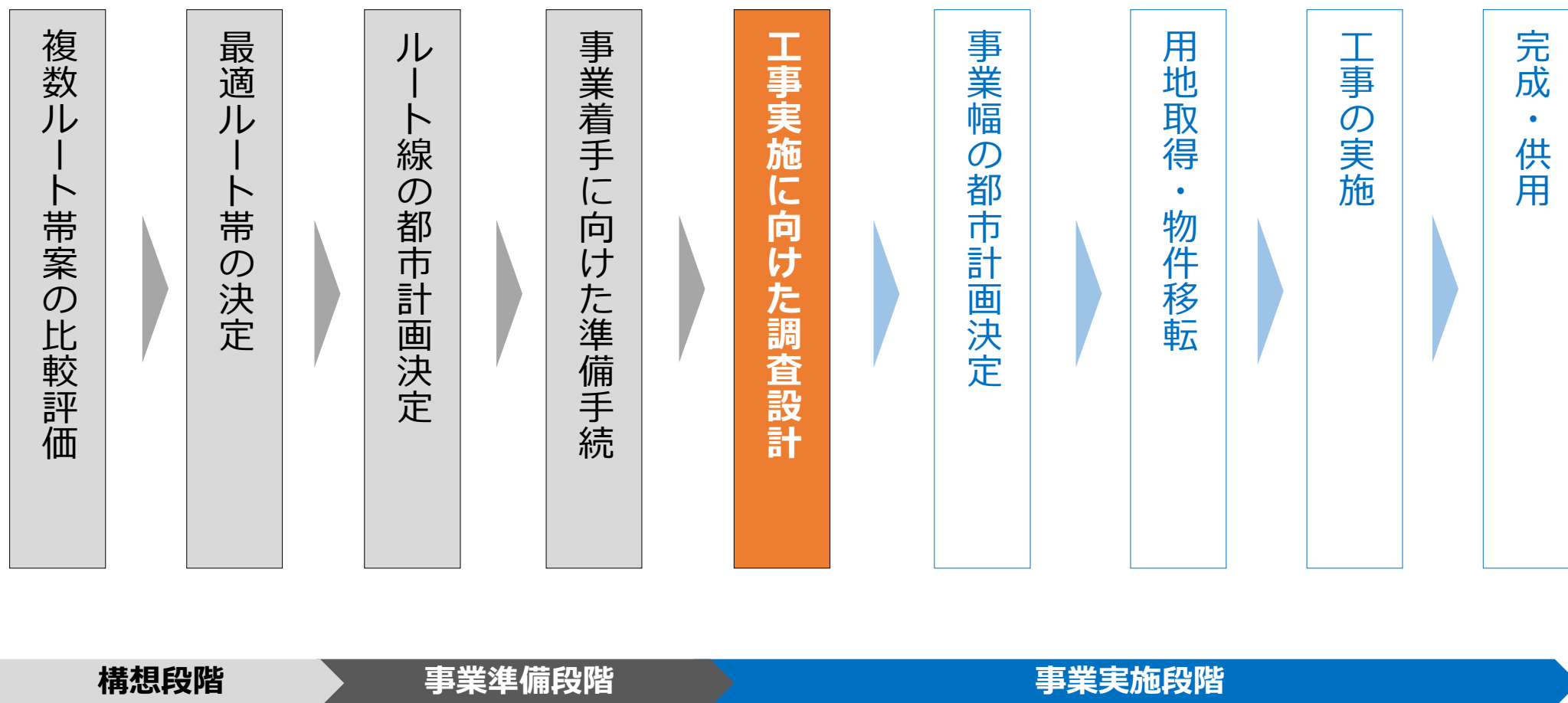
(1) 安曇野道路

1) 事業概要（過去の経過含む）

※一部IC名の“仮称”を省いています

本日の説明内容

安曇野市新設区間[安曇野道路]が、R4年度から**事業実施段階**に入りました。
現在、調査設計を進めており、事業幅の確定、用地取得、工事着手と進める予定です。
本日は、道路構造や市道付替え等の設計概要や、今後の調査や進め方を中心にご説明します。



R2.8

R4.4

松本糸魚川連絡道路（松糸道路）の概要

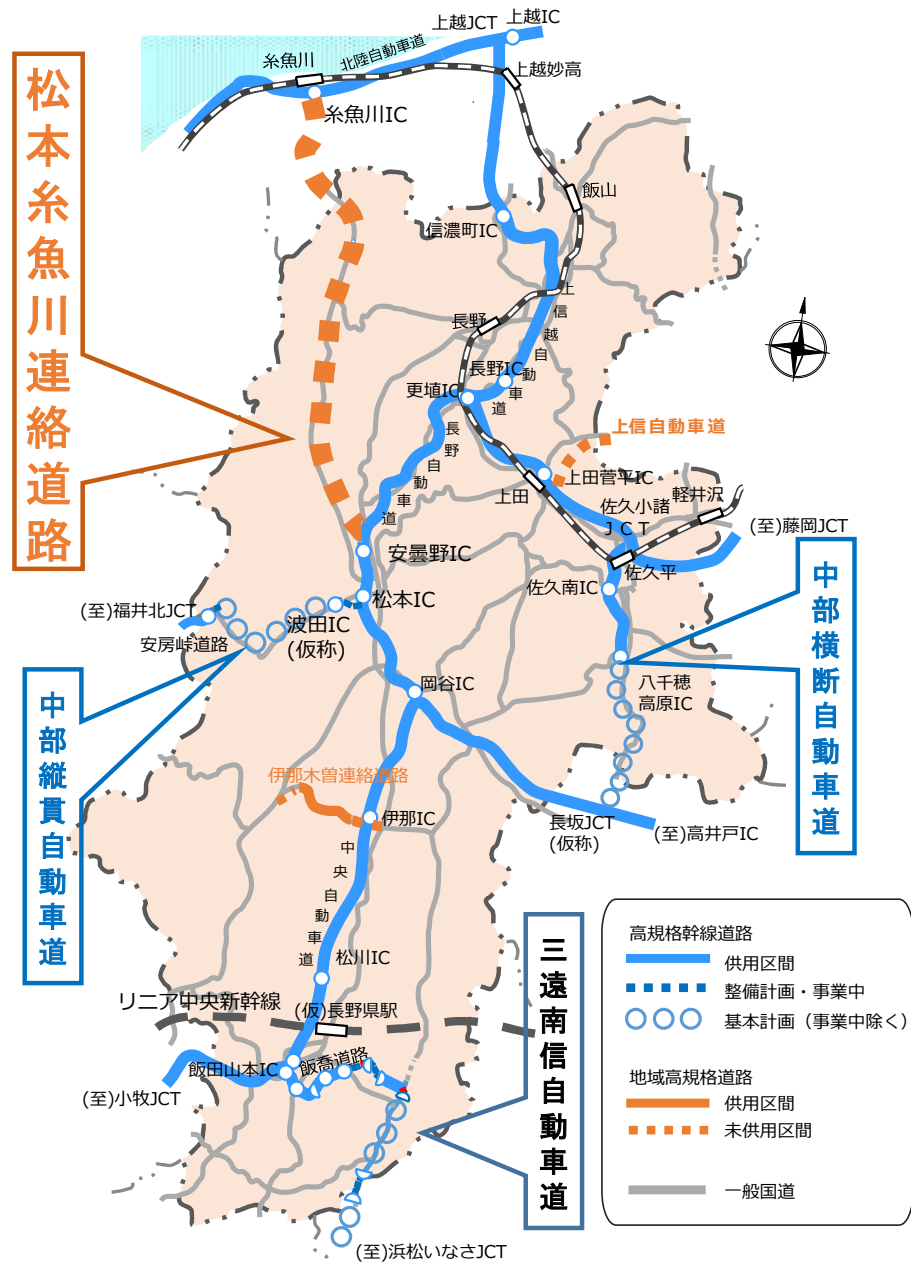
松本市～新潟県糸魚川市間(全長約100km)の地域高規格道路です。
地域間の往来を便利にすることで、両地域及び沿線市町村における産業発展、
生活基盤の強化を目指し、規格の高い道路を整備します。

地域高規格道路とは

- 高速道路のネットワークを補完する役割
- 自動車の通行機能として、路線全体で所要のサービス速度を確保できる構造の道路

期待される主な効果

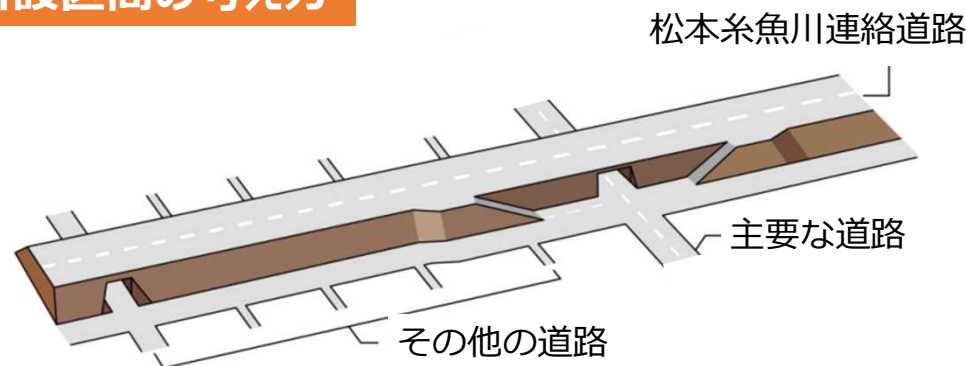
- 高速道路へのアクセス性の向上
- 安曇野IC周辺の渋滞の緩和
- 医療環境の充実・連携強化の基盤
- 災害への備えを強化
(広域的な連携、代替路確保)
- 地域の産業や観光の発展



松糸道路の整備手法

新設区間、バイパスや現道活用区間を組み合わせ、松本～糸魚川間全体で、信号停止や渋滞を含め平均的に概ね60km/hで移動できるようにします。

新設区間の考え方

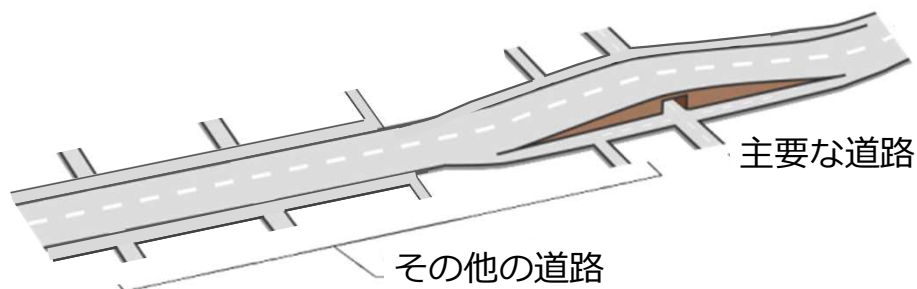


- 基本的に立体交差



全体で概ね60km/hで移動できるよう、組み合わせて整備

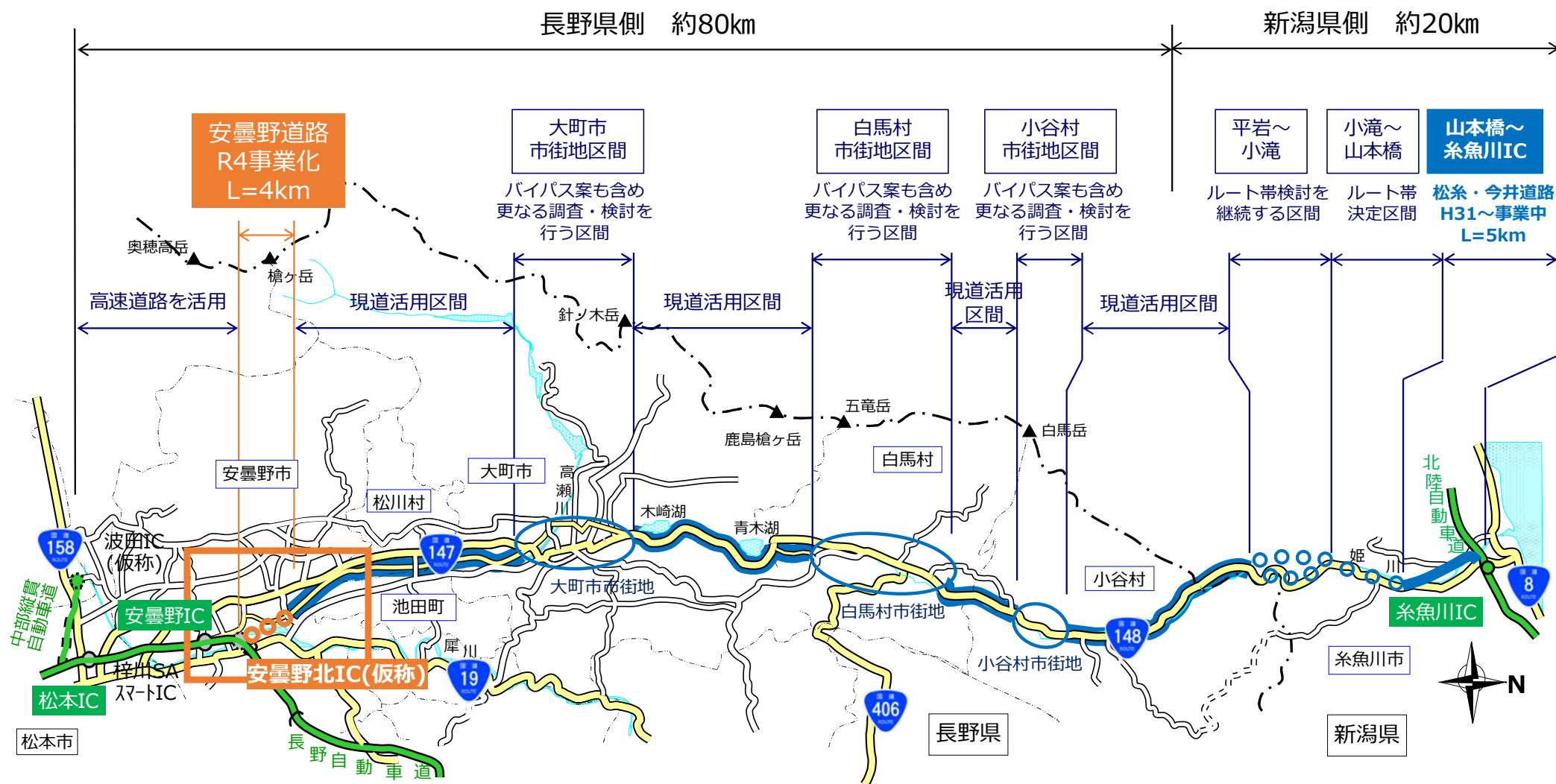
現道活用区間の考え方



- そのまま、もしくは一部改良
(追越車線の設置や主要交差点の立体化)
- 沿道からのアクセスは、サービス速度を確保できるよう集約

松糸道路の整備状況

それぞれの区間で計画の検討が進められており、一部区間では工事を実施しています。
安曇野市新設区間[安曇野道路]は、令和4年度から、**工事に向けた調査設計に着手**しました。

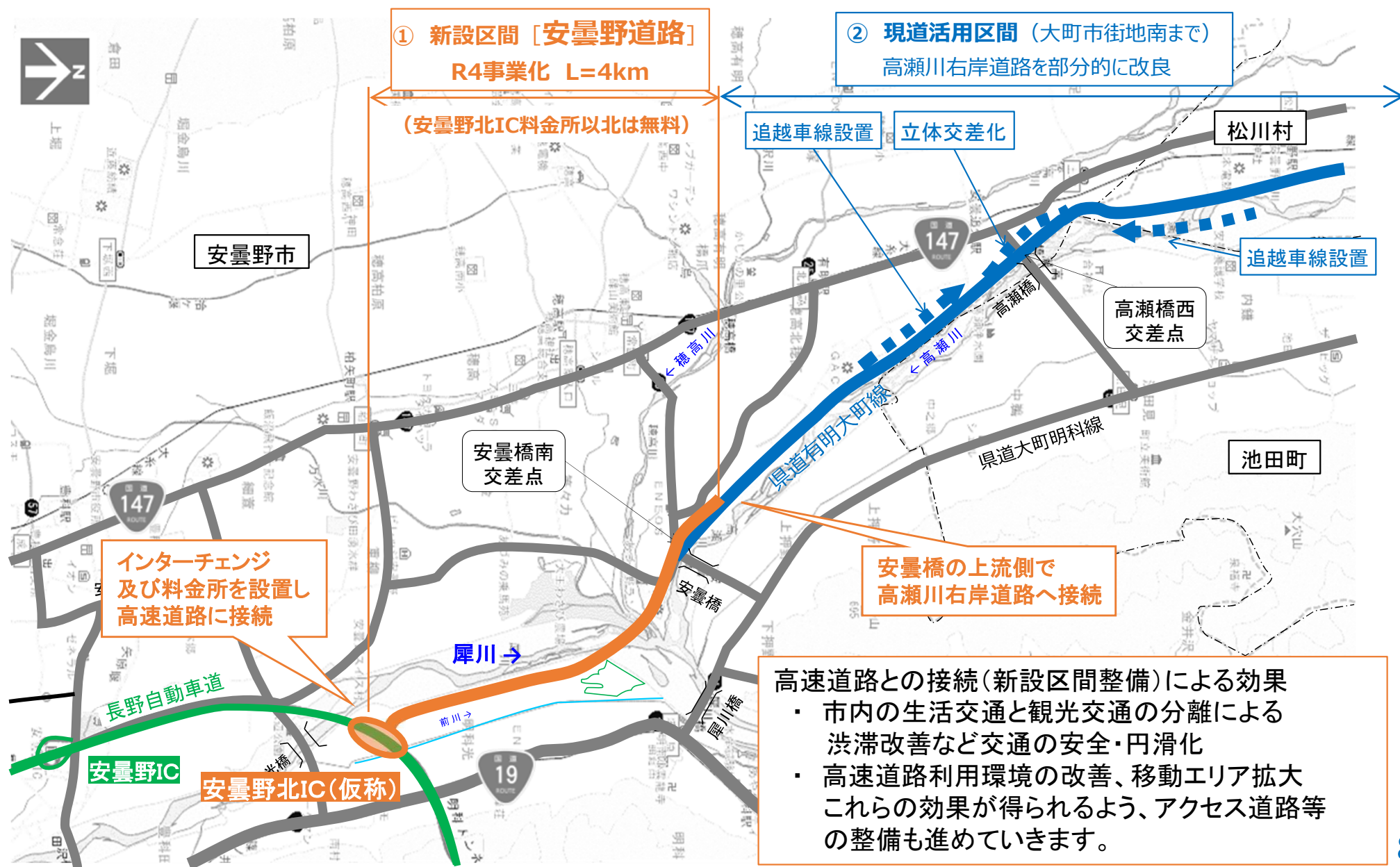


安曇野市内における松糸道路の計画

整備効果を早期に発揮させるため、高速道路につながる部分の整備を優先し、

「①新設区間(安曇野道路)」を事業化し、重点的に整備を進めていきます。

「②現道活用区間」についても、今後、地域と意見交換しながら検討を進めていきます。



安曇野道路 計画路線の概要（ルート）

長野自動車道と高瀬川右岸道路を結ぶ新しい道路を整備します。

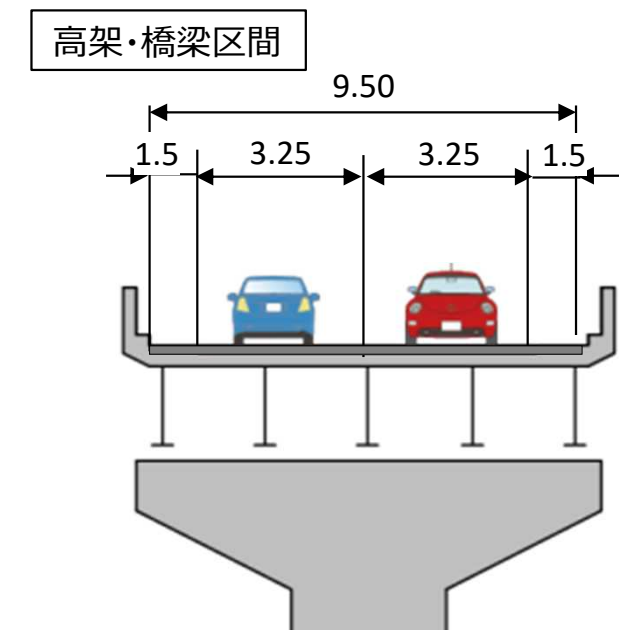
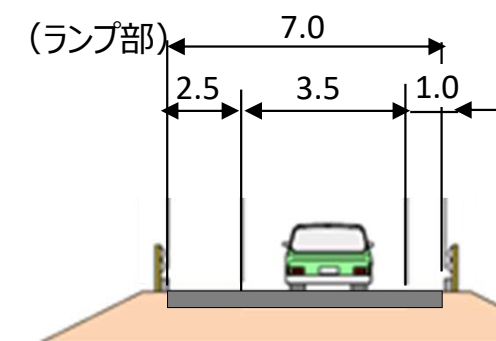
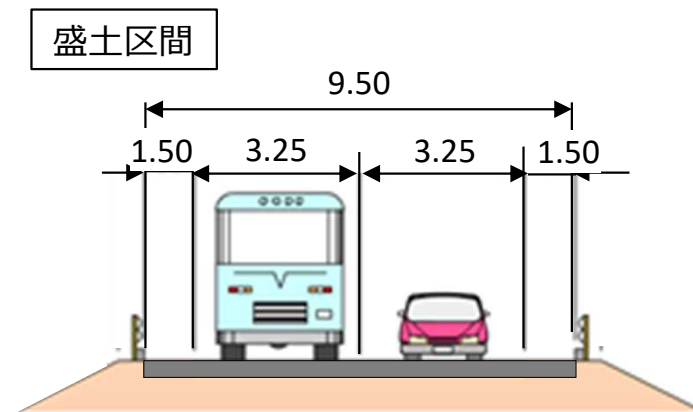
犀川右岸および高瀬川右岸の地区に**出入口（既存路線へ接続、立体交差形式を基本）**を設置し、**高速道路へのアクセス性を向上させるとともに、市街地内の通過交通を新しい道路へ転換させます。**

地域分断、農地買収等の影響を少なくするため、**ルートは、犀川及び高瀬川にできるだけ寄せるよう計画**しています。



計画路線の概要（設計条件）

項目	内容(道路構造令やNEXCO設計要領等の基準含む)
区間	安曇野市豊科光（長野自動車道と接続） ～ 安曇野市穂高北穂高（県道有明大町線と接続）
延長	約 4.0km
設計速度	安曇野北ICランプ 35km/h（曲線半径R= 40m以上、縦断勾配i=6.5%以下） 安曇野道路本線 60km/h（曲線半径R=150m以上、縦断勾配i=5.0%以下） 安曇野道路ICランプ 40km/h（曲線半径R= 50m以上、縦断勾配i=8.0%以下）
車線数	2車線
幅員	9.5m （路肩1.5m＋車線3.25×2＋路肩1.5m）
構造	盛土構造、高架・橋梁構造
接続及び 交差する 道路	中央自動車道長野線〔長野自動車道〕 市道 豊科4038号線 市道 明科4036号線（国道19号アクセス） 市道 穂高1級20号線（長野道方面出入口） 県道有明大町線〔高瀬川右岸道路〕（大町方面出入口）



安曇野道路 事業の流れ

計画説明会(R4.8~9、R5.11)

令和4年度は、地質調査や設計等を実施しました
令和5年度は、設計や路線測量・環境調査等を進めます



構想段階

事業準備段階

事業実施段階



市民説明会(R2)



地形測量(R3)



地質調査(R4)



長野道上での測量(R5)

都市計画決定について

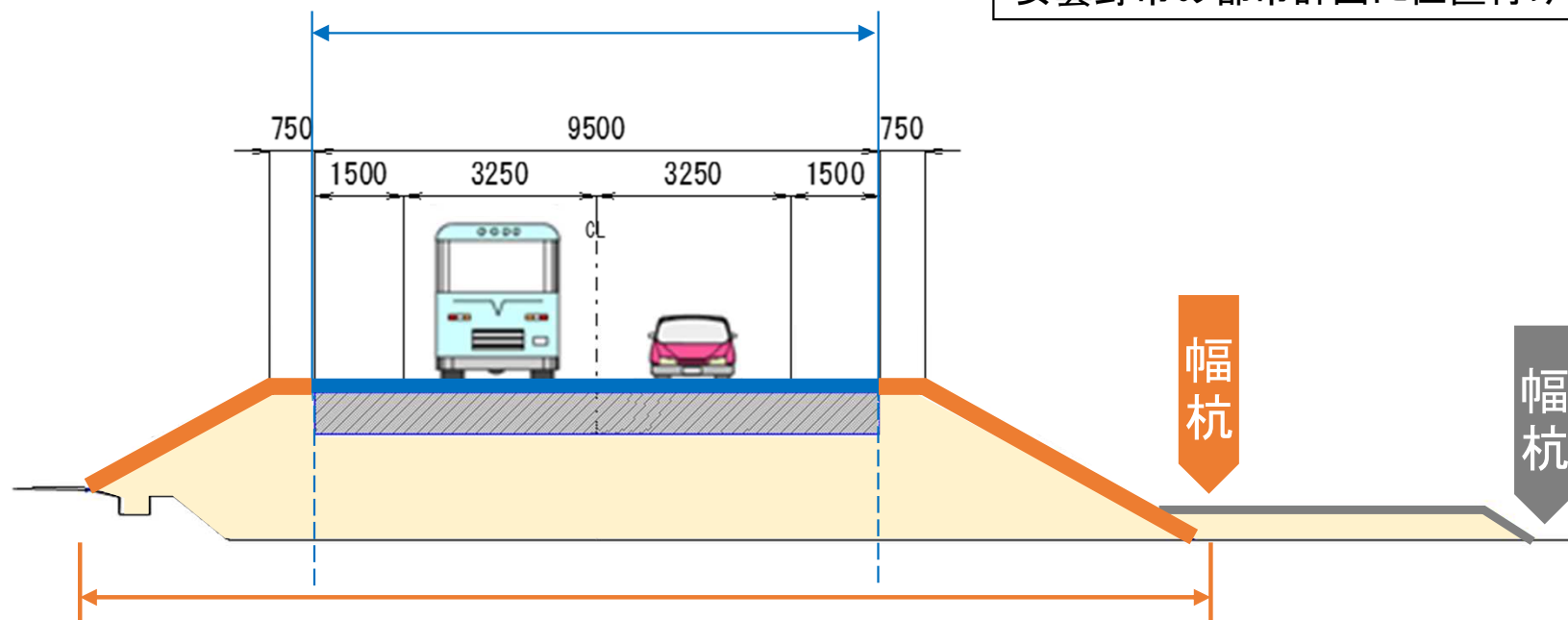
安曇野道路は、安曇野市の将来のまちづくりに向け、「広域化した市域の連携強化」「災害時の代替路確保」「観光地へのアクセス向上」といった役割を果たすものです。

その役割を確実に果たすためには、計画的な整備が不可欠となりますので、安曇野道路を、安曇野市の基幹となる重要な都市施設として都市計画に定めていきます。

R3. 9都市計画決定

9.5m

道路の計画ルートを
安曇野市の都市計画に位置付けました。



事業範囲幅 ※道路の構造により異なる

測量や地質調査等の結果をふまえ、擁壁や盛土など道路の構造について設計の精度を高め、盛土法面なども含む、道路として実際に必要となる範囲(影響幅)について、あらためて都市計画決定(変更)の手続きをとります。

(1) 安曇野道路

2) 設計概要 (道路構造・市道付替え等)

※一部IC名の“仮称”を省いています

前回説明会での主な(全般的な)ご意見へ対応方針

※個別区間毎のご意見関連は、後ろのページでご説明します

- ☑ 環境配慮について、事前調査をしっかり行い対策をとってほしい。
 - ➡ 一部環境調査を先行実施しました。また、今後の調査予定について後ほど説明します。

- ☑ 凍結対策、出入口の安全確保に配慮してほしい。
 - ➡ 実測した測量結果等もふまえ、一部区間の縦断勾配等の改善を行いました。
また、周辺市道の付替え等も含め、安全性向上をふまえた設計を行いました。

- ☑ 農業水路は、現在構造や、工事中の通水確保を十分踏まえて設計すること。
 - ➡ 水路付替えが多い部分は、水利組合との相談結果等もふまえて設計を行いました。
なお、農業用水と道路排水は、基本的に混ざらない設計方針としています。

- ☑ 道路や橋梁が建設されることで、浸水危険性が高まらないよう、配慮してほしい。
 - ➡ 河川計画との整合も図りつつ、川の流れや堤防に悪影響が出ないように十分配慮しました。
また、ボーリング調査を行った結果、概ね良好な支持地盤が確認されましたので、
安全性に留意した橋梁や擁壁等の基礎形式等の設計を進めます。

① 安曇野北IC（仮称）付近 イメージ図

現段階のイメージ図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

※ランプ：道路相互を連結する道路



① 安曇野北IC（仮称）付近 イメージ図

現段階のイメージ図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

※ランプ：道路相互を連結する道路



至 麻績IC

Bランプ
長野道上り線からの
出口ランプ

安曇野北IC
(仮称)

Cランプ
長野道下り線への
入口ランプ

Aランプ
長野道上り線への
入口ランプ

光橋

長野道料金所

Dランプ
長野道下り線からの
出口ランプ

現況堤防への接続は
河川管理者等との
協議踏まえ検討

長野道
犀川橋

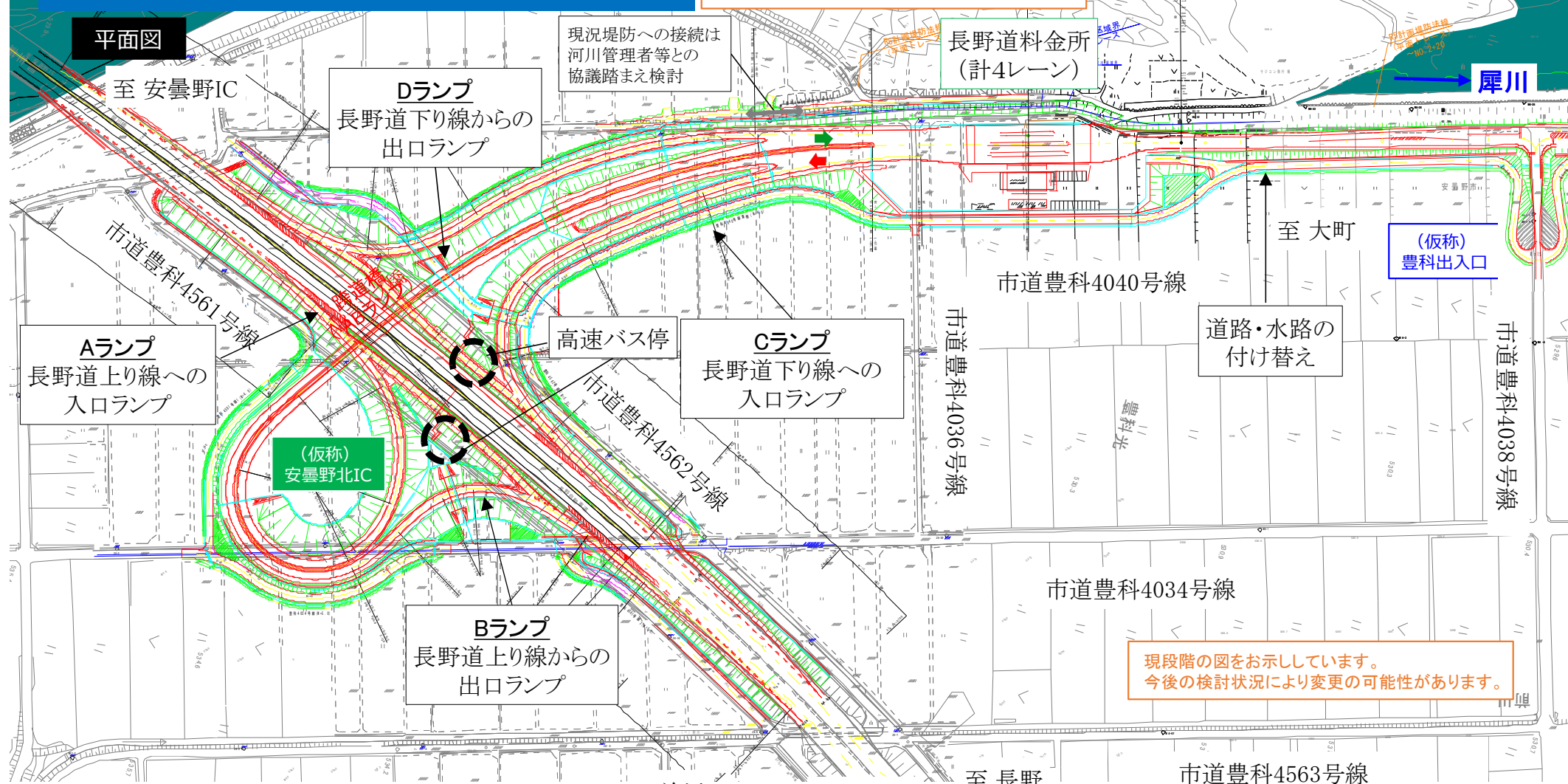
犀川

至 安曇野IC

① 安曇野北IC（仮称）付近 計画図

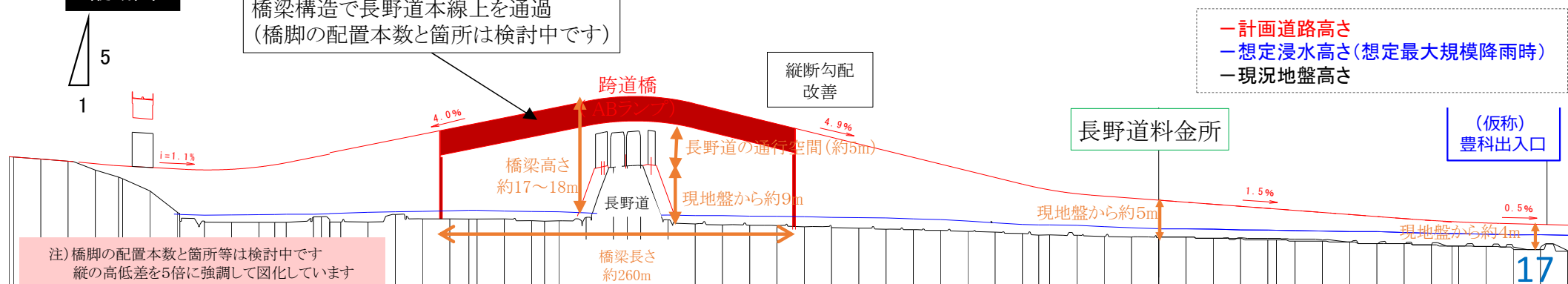
現段階の図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

※ランプ：道路相互を連結する道路



縦断図

長野道～料金所間の道路(ランプ)は
橋梁構造で長野道本線上を通過
(橋脚の配置本数と箇所は検討中です)

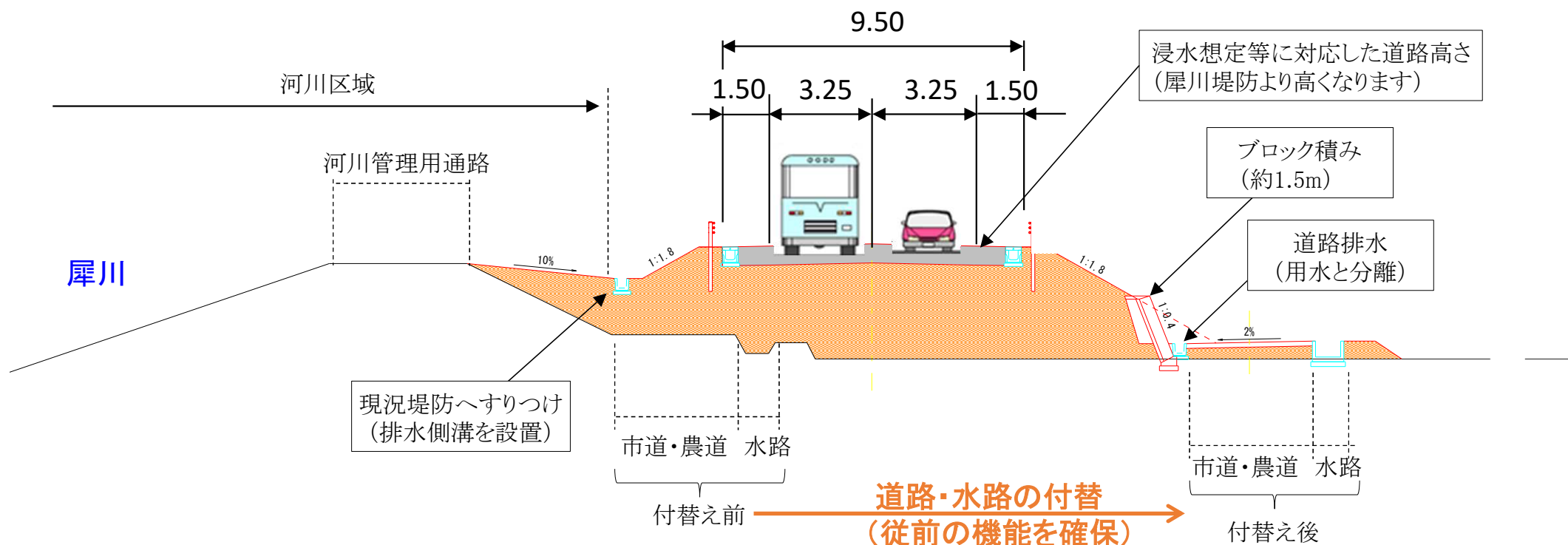


① 安曇野北IC（仮称）付近 設計概要

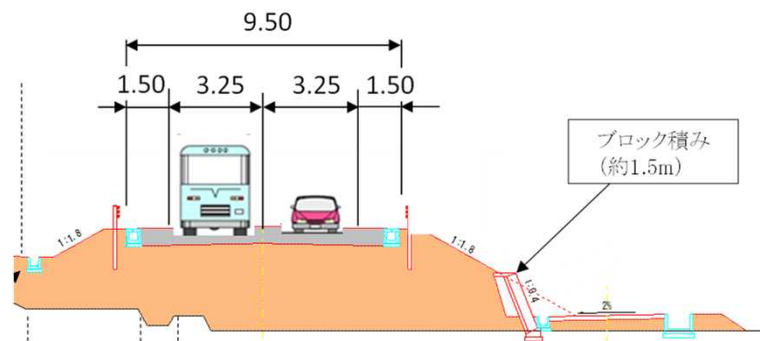
- 実測した測量結果等もふまえて検討した結果、より安全に利用できる構造として長野道と安曇野道路をつなぐ連結道路（ランプ）部分の縦断線形等の改善を行いました。
- 周辺の市道・農道の付替えについて、現在の動線や幅員等をふまえて、安全性や利便性に配慮した設計を行いました
（堤防への乗り降り箇所について1箇所新設予定です）
- 周辺の農業用排水の付替えについて、現在の流下方向や流下能力をふまえて、今の機能と同等になるよう設計を行いました。
- 現在、長野道の道路排水は前川へ流れ込んでいますが、安曇野北ICの道路排水についても同様とする方針です。
- 現在の長野道明科バス停の代わりに、安曇野北ICへ新たにバス停を設置する予定です
設置箇所は安曇野北ICの中央部付近となります（安曇野ICと同様の箇所）
また、バス停近辺にバス利用者駐車場の整備を市で予定しています。（現在と同規模を予定）

② 犀川右岸（安曇野北IC～明科IC）堤防沿いの道路構造

- 河川機能確保等を考慮しつつ農地への影響を抑えるよう、できるだけ河川堤防へ寄せています。
また、浸水想定に対応した道路高さにし、道路盛土と河川堤防の間には排水側溝を設けます
- 堤防沿いの道路（市道・農道）や水路は、安曇野道路の農地側への付け替えを行います。
（ブロック積みまでが都市計画決定予定の事業範囲、畔の法下までが買収範囲となります）
- 盛土の農地側については、盛土法面保護と、農地への影響低減の観点から、
約1.5m程度のブロック積み設置し、付替え道路・用水路との間に排水側溝を設けます。



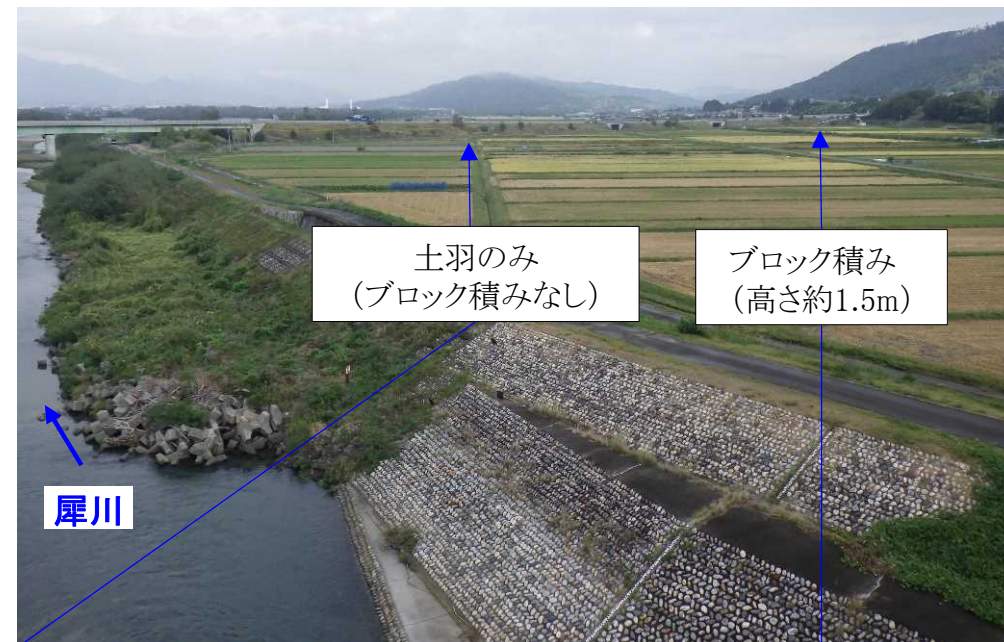
② 犀川右岸 ブロック積みについて



☑ ブロック積みにより期待される効果

- 盛土のり面の保護
- 農地への影響低減(用地幅低減)
- 草刈り等の維持管理負担の軽減
- 安曇野道路への侵入抑止効果 など

注) 図と対比しやすいよう写真を反転させています



光橋から盛土のり面の眺望例 (距離約400m～900m)



土羽のみ(ブロック積みなし)



ブロック積み(写真は高さ約1.5m)

② 犀川右岸（安曇野北IC～明科IC）計画図

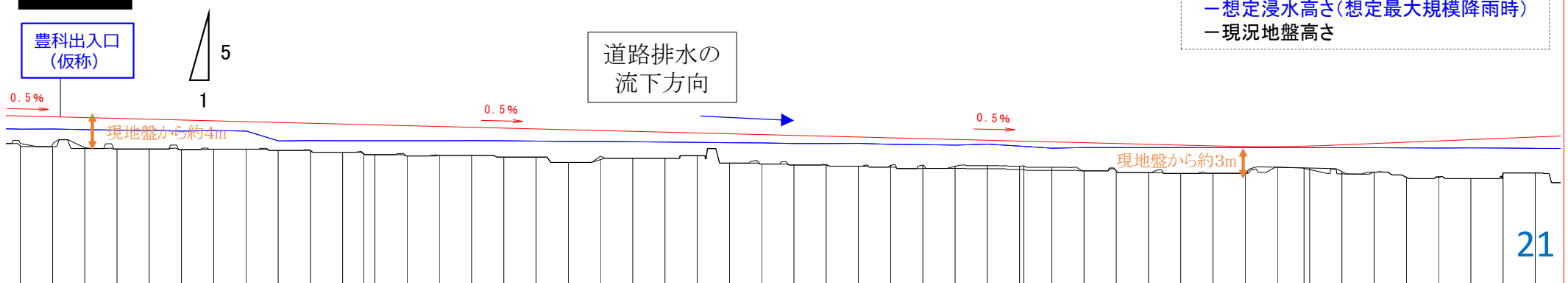
現段階の図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

平面図



縦断面図

注) 縦の高低差を5倍に強調して図化しています



- 豊科出入口については、平面交差であるため、交通に支障が出ないよう、安曇野道路本線に右折レーンを設けます。また、接続市道にも最低限のすれ違い幅をとります
- 安曇野道路の排水は、本線両脇の水路に集め、主に光排水樋管から犀川へ流します。
（光排水樋管～明科IC間の道路排水は、アクセス市道を経由して前川へ流す予定です）
- 道路勾配は、排水の流れやすさ等を考慮し、安曇野北ICから光排水樋管付近に向け下り勾配、その後、橋梁区間は高くする必要があるため、登り勾配となります
- 安曇野道路法面の排水と付替え市道・農道の排水は、安曇野道路と市道の間の水路に集め、光排水樋管から犀川へ流します。（付替え後の農業用水には基本的には流れ込みません）
- 現在ある堤防への乗り降りする道路は使用できなくなりますので、安曇野北IC付近や明科IC付近に設ける道路からの往来をお願いします

②犀川右岸（明科IC付近）イメージ図

現段階のイメージ図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

※ランプ：道路相互を連結する道路

R5.11.10ver

至 松川村・大町市

Bランプ
大町方面からの
出口ランプ

明科IC
(仮称)

至 国道19号

Cランプ
大町方面への
入口ランプ

Aランプ
長野道方面への
入口ランプ

Dランプ
長野道方面からの
出口ランプ

犀川

堤防管理用通路

至 長野道

豊科出入口
(仮称)

②犀川右岸（明科IC付近）イメージ図

現段階のイメージ図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

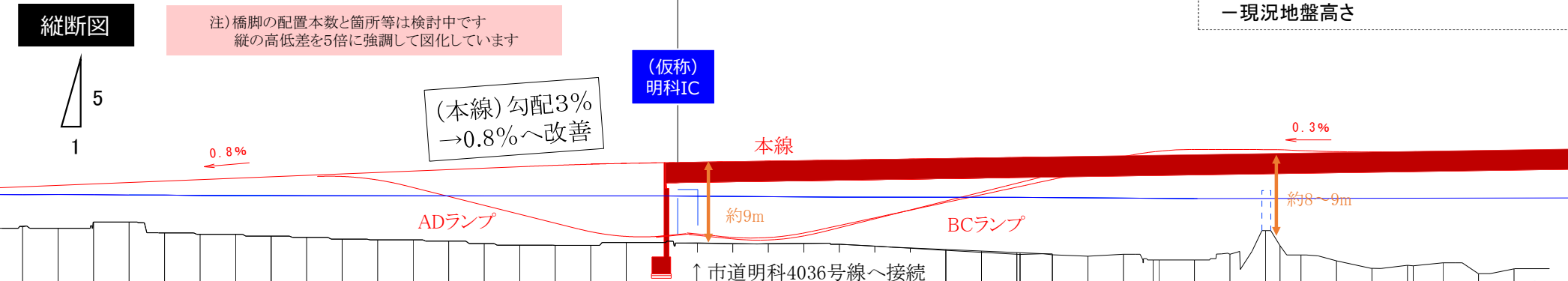
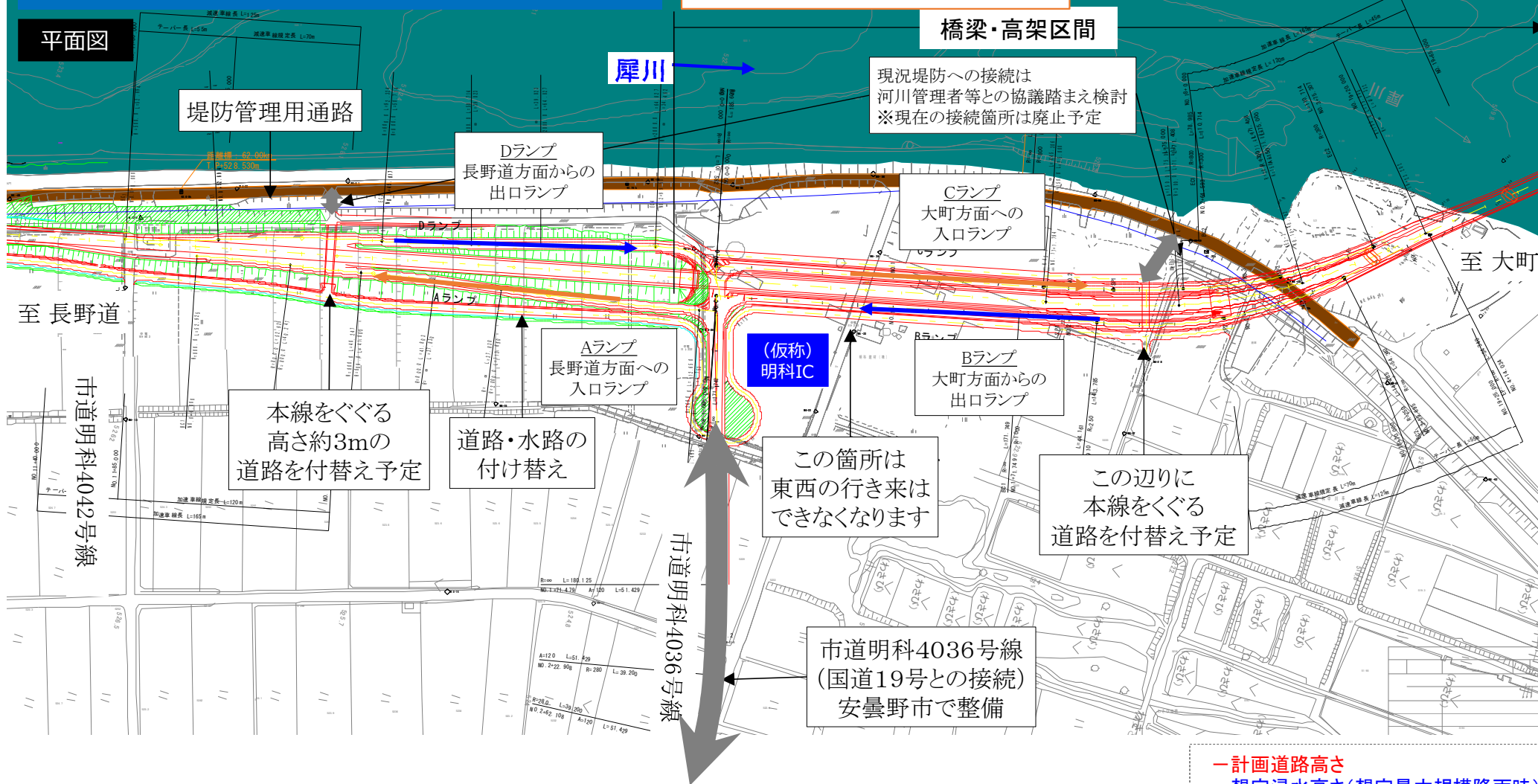
※ランプ：道路相互を連結する道路



② 犀川右岸（明科IC付近）計画図

現段階の図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

※ランプ：道路相互を連結する道路



② 犀川右岸（明科IC付近）設計概要

- 明科ICと市道明科4036号線の接続位置について、犀川内への橋脚影響を低減することや、安曇野道路本線からの乗り降りするランプの安全性等を考慮して位置を決定しました。
- 明科ICは西側市道との接続は行わないことで、ICを利用しない車や人が入らないようし安全性を高めることとしました。また、あわせてICにおける逆走防止対策も実施します。
（安曇野道路の西側へ行く際の市道付替えを別途行います）
- 市道の付替えに合わせて、堤防接続道路（市道）の新設を検討します
（現在の接続道路は廃止見込み）
- 橋梁の開始位置は、必要最低限とするため、前回の提示位置よりも北側となります
- 市道明科4036号線は、主な工事用道路としての利用も検討していますが、交通を分散する観点から、他の動線等も検討していきます。

※「市道明科4036号線」の計画は、後ほど安曇野市から説明を行います。
（今後詳細な設計を行うため、現段階では概ねの範囲のみ例示しています）

③ 三川合流部付近 イメージ図

現段階のイメージ図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

A2橋台位置

穂高北IC
(仮称)

穂高南IC
(仮称)

万水川

穂高川

犀川

明科IC
(仮称)

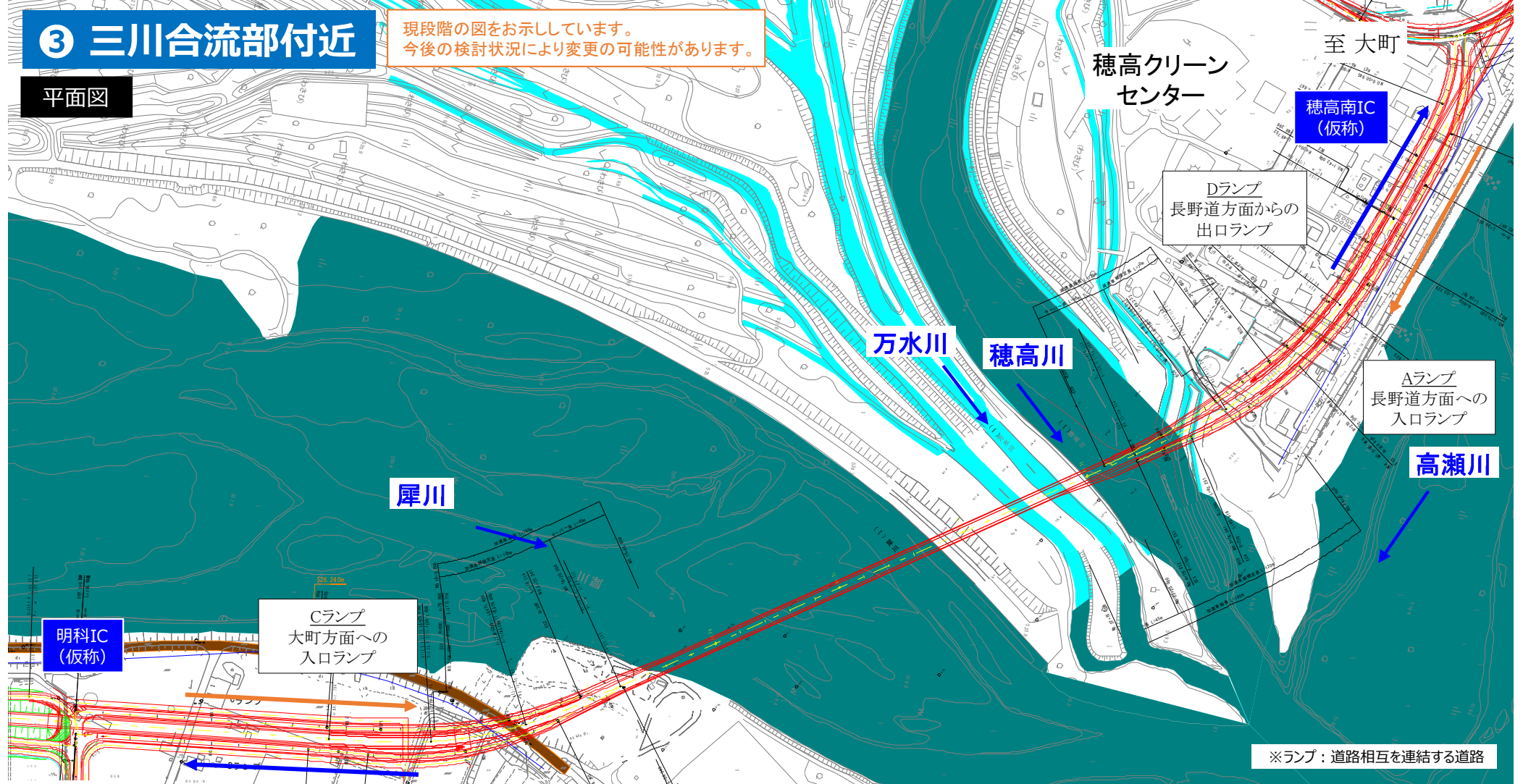
A1橋台位置

- ・ 3次元モデルによる完成予想図について、橋梁区間で先行的に作成しました。
- ・ 今後は、橋梁以外の部分の作成も進め、次回説明会では全区間でお示しする予定です。

③ 三川合流部付近

現段階の図をお示ししています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

平面図



※ランプ：道路相互を連結する道路

至長野道

明科IC
(仮称)

Bランプ
大町方面からの
出口ランプ

Cランプ
大町方面への
入口ランプ

- 計画道路高さ
- 想定浸水高さ(想定最大規模降雨時)
- 現況地盤高さ

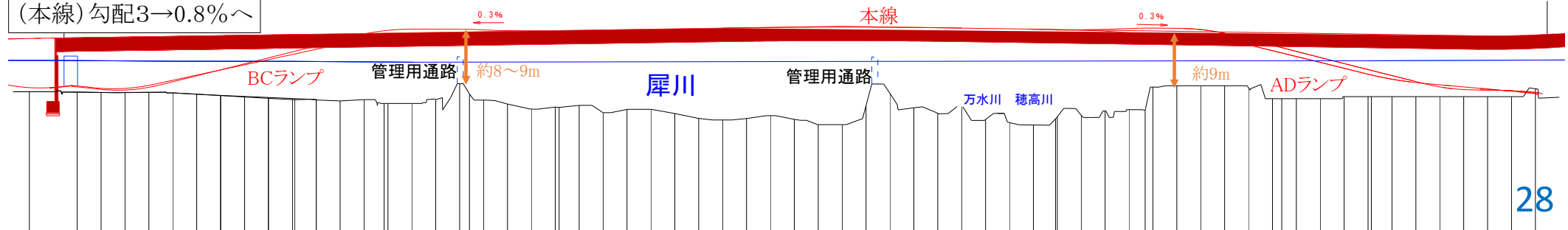
5
1

注) 橋脚の配置本数と箇所等は検討中です
縦の高低差を5倍に強調して図化しています

縦断面図

穂高南IC
(仮称)

(本線) 勾配3→0.8%へ

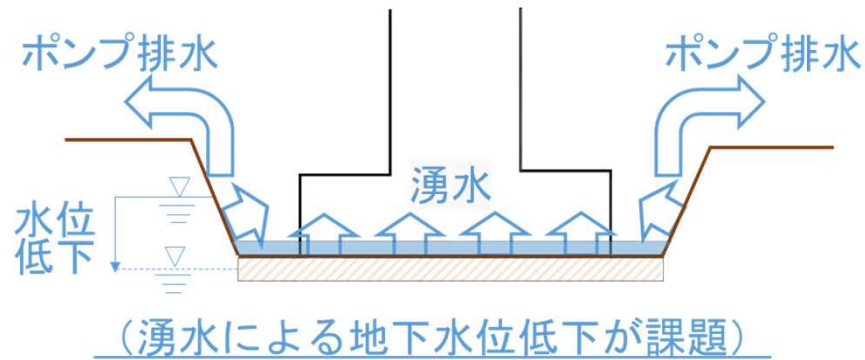


③ 三川合流部付近 設計概要

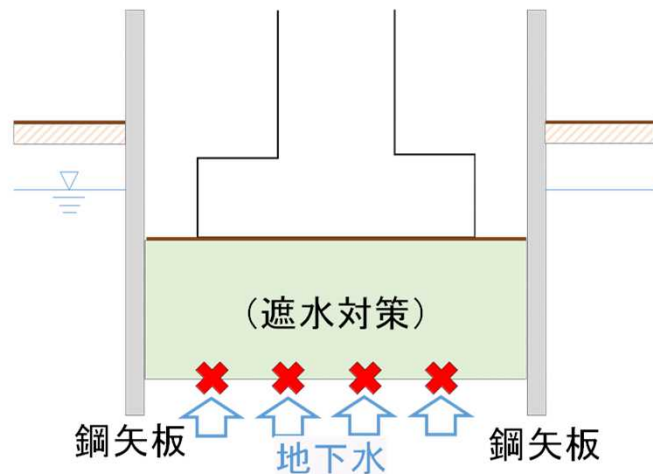
- 冬期等の安全対策の観点から、明科IC付近の縦断勾配を緩くしました
- 防護柵は安全性の高いコンクリート防護柵を予定しています
- 右岸側河川内の橋脚を小さくするため、明科ICランプ位置を南側へ寄せました
- 橋脚について、河川の流れや地下水への影響について予測・解析を行った上で、可能な限り少ない本数に出来るよう、現在詳細な形状や配置を検討しています
- これまでの調査結果等をふまえ、地下水に配慮した基礎工法を検討しています。
(河川内はニューマチックケーソン工法、陸上部は側面は鋼矢板・底面は遮水対策を予定)
- 橋脚設置に際しては、橋脚まわりの洗堀対策として護床ブロックの設置などを検討しています。
- 周囲の動植物への影響低減対策について、専門家(市生物多様性アドバイザー等)の意見も踏まえながら現地調査や設計を進めています。

③ 三川合流部付近 基礎工法の事例

• 一般的な開削

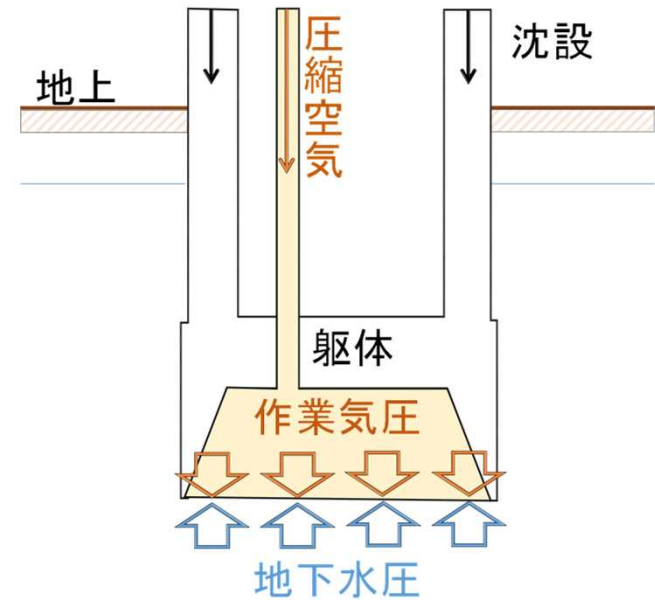


• 陸上部施工



• 河川内施工

ニューマチックケーソンによる湧水防止
(躯体を地上で構築後に沈設させる)



参考: 河床低下対策の一例(護床ブロック)



④高瀬川右岸（穂高北IC～穂高南IC） イメージ図

注) イメージ図と計画図(平面図)は向きが反対になっています

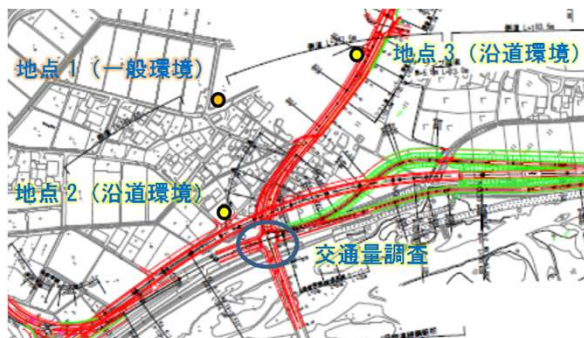
現段階のイメージ図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

※ランプ：道路相互を連結する道路



- 冬期等の安全対策の観点から、穂高北IC付近の縦断勾配を緩くしました。
また、防護柵は安全性の高いコンクリート防護柵を予定しています
- 穂高北ICランプの接続する安曇橋南交差点については、交差する県道穂高明科線への右折レーンが設置された際も、整合が図れるよう設計を行っています。
- 穂高北ICランプ橋梁について、今年度、形式検討と設計に着手しました
- 穂高北IC付近の農地側については、盛土強化と農地への影響低減の観点から、約1.5m程度のブロック積み設置し、その外側へ水路と道路を付替えます。
- 今年度、騒音と振動の調査を実施しましたが、いずれも環境基準以下でした
音の出やすさは、橋梁の形式等によって違うため、橋梁設計において配慮していきます
- 市道穂高2級24号線（高瀬川右岸の堤防兼用）の付替えについて、現在関係機関等との協議を行っています。（現在の機能を損なわないように付替えを行います）

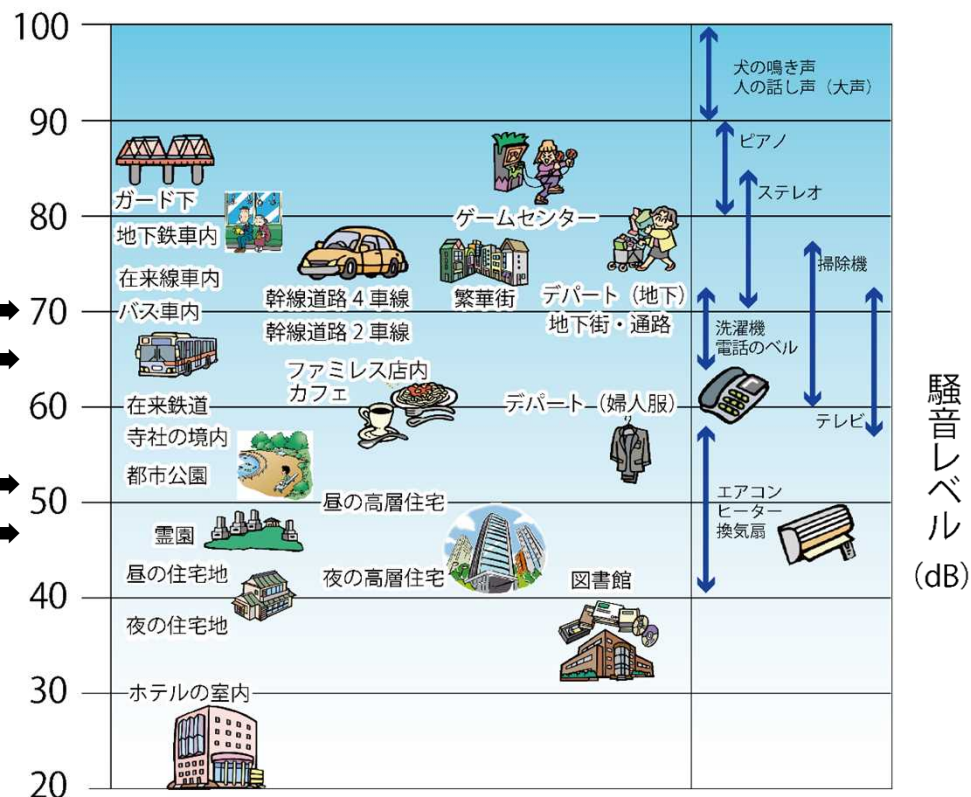
④高瀬川右岸道路での環境調査結果一例



調査地点
(R5.6実施)

騒音調査結果 (地点2)

環境基準	昼間70dB ➡
	夜間65dB ➡
調査結果	昼間50~52dB ➡
	夜間46~48dB ➡



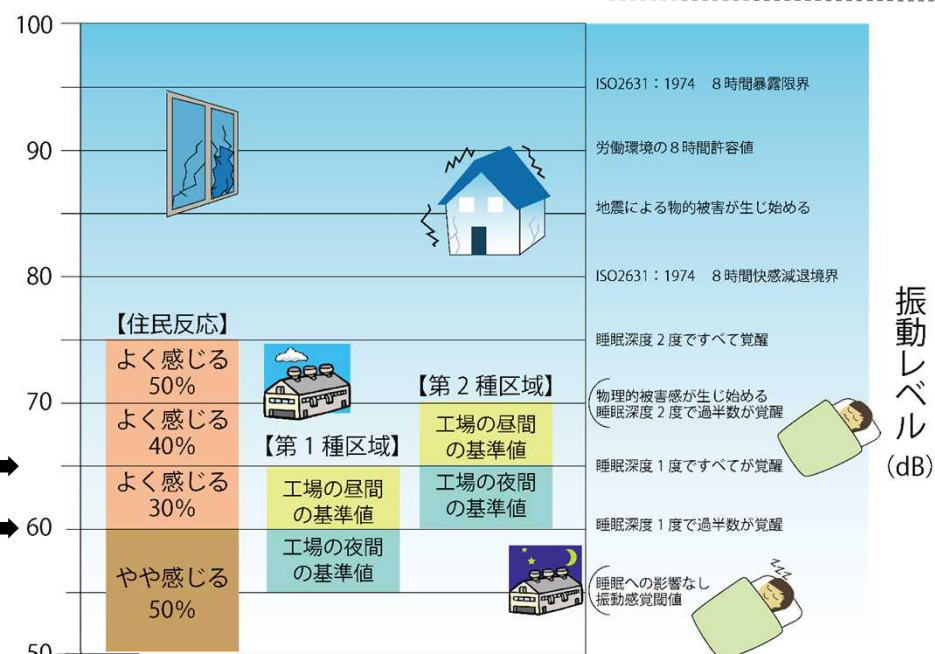
調査機器設置状況 (地点2)

- ・騒音 (高さ1.2m、4.2m)
- ・振動

振動調査結果 (地点2)

環境基準	昼間65dB ➡
	夜間60dB ➡

調査結果	昼間33dB ➡
	夜間26dB ➡



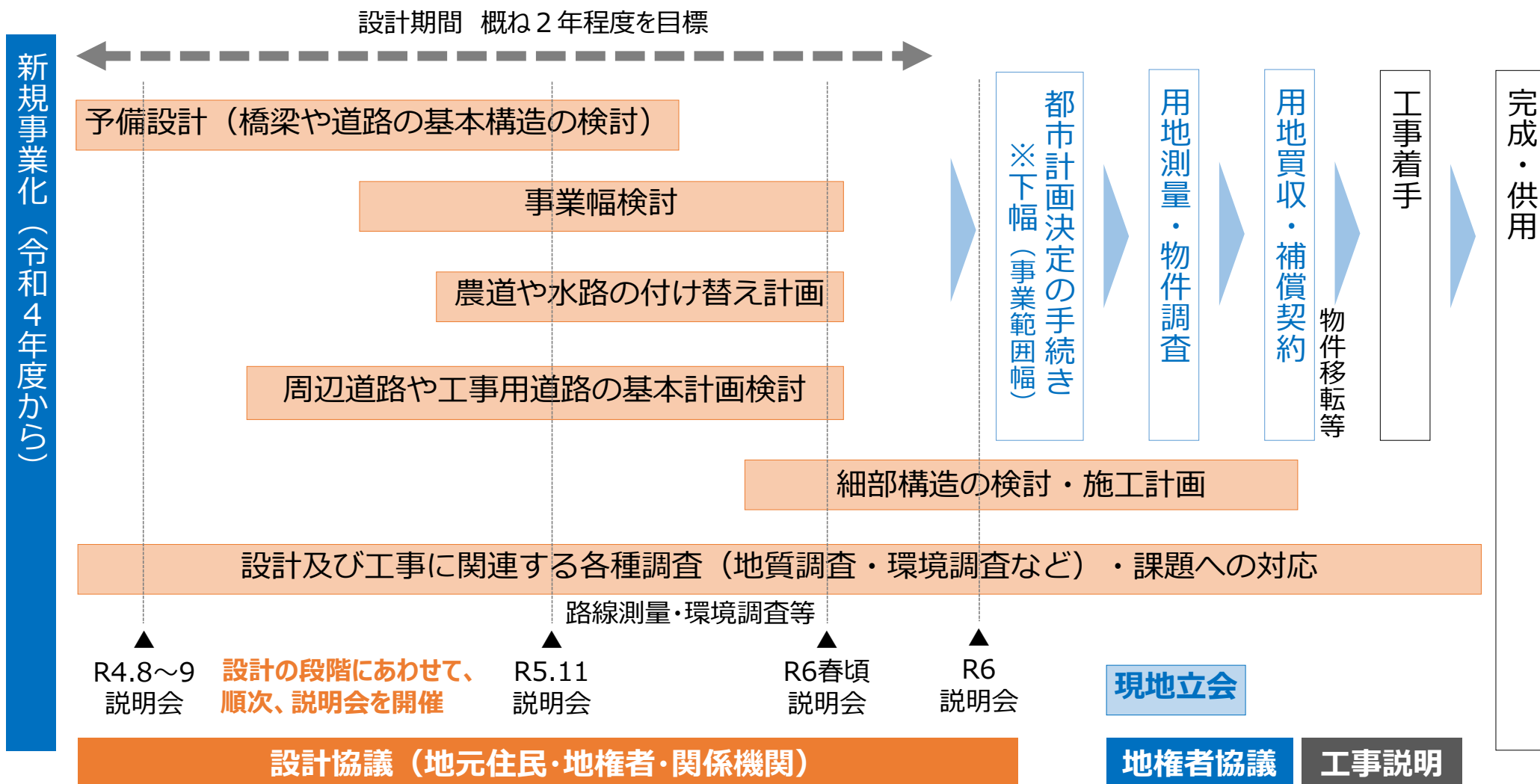
(1) 安曇野道路

3) 調査予定と今後の進め方

※一部IC名の“仮称”を省いています

今後の流れ

- ・ R4. 8～9 : 設計方針等についてご説明しました。
- ・ R5. 11 : 具体的な設計内容等についてご説明しました。
- ・ R6. 春頃 : 具体的な用地買収目安について説明予定です。
- ・ R6(未定) : 都市計画決定の内容等について説明予定です。



今後の進め方

計画地内の土地所有者の皆様へ

- 今後、路線測量等を行った上で、事業範囲の目安を来年春頃に行う説明会にてお示ししたいと考えています。(関係地権者へは通知を郵送します)
※説明会では、3Dモデル図を用い、具体的な影響をお示しすることを予定しています。
- また、説明会後には、実際に現地へ事業範囲の目安をお示しする予定です。
(畔等の影響が少ない箇所への設置予定ですが、ご理解とご協力を宜しくお願いします。)
- 以降、準備が整い次第、正式な用地測量の実施予定です。
(現在の用地境界を確認いただくため、立会いを予定しています。その際は改めてご連絡いたします)
- 工事実施は犀川右岸側からを予定しているため、用地買収も犀川右岸側から進める予定です。
(現段階での予定です。今後も順次お知らせします。)
- 工事を実施する際、借地へのご協力をお願いする場合があります。
設計内容が決まり、施工計画を検討する中で、該当する皆様へご相談をさせていただきます。
- **土地を貸している方は、土地利用者への情報提供を行っていただきますようお願いいたします。**

今後の進め方

工事着手・完成予定時期等について

- 今後、道路事業として必要な土地の範囲を都市計画決定した後、用地買収に入る予定です。その後、ある程度用地が確保できた段階で工事に着手します。
- 道路計画が概ねまとまってきたことから、今後施工計画についても具体的な検討を行います。
- 市道明科4036号線は主な工事用道路としての利用も検討していますが、交通を分散する観点から、他の動線等も検討していきます。
- 完成まで10数年かかると見込んでいますが、早期に効果が出るよう、部分的な供用等も含めて検討を進めます。
- 今後も、地域の意見をお聞きしながら、工事の順番、施工計画について検討していきます。

今後の調査予定（R5後半～R6前半）



区間	これまでの主な取組	今後の主な予定（R5後半～R6前半）
① 安曇野北IC（豊科）		新設インターチェンジの設計、路線測量
② 犀川右岸（豊科～明科）	道路概略設計 地形測量	道路・高架橋の予備設計、路線測量
③ 三川合流部（橋梁）	地質調査 環境調査	橋梁予備設計、流況解析、路線測量
④ 高瀬川右岸（穂高）		道路・高架橋等予備設計、路線測量

※左記に加え、環境調査や追加の地質調査等も実施予定

調査・設計等の実施状況と今後の予定

※会社名は業務委託先です。
実施項目や時期は、今後の状況により変更の可能性あります。

①安曇野北 IC付近	②犀川右岸	③三川 合流部	④高瀬川 右岸	区間
道路概略設計、地形測量、地質調査、環境調査等				今までの 主な 取組み
IC設計	道路予備設計	橋梁予備設計		
▶ 路線測量 (株)ゼンシン ～R6年3月	▶ 路線測量 (株)アンドー ～R6年5月	▶ 路線測量 大成測量設計(株) ～R6年5月		今後の 主な 取組み
▶ 環境調査 ▪ 動植物調査 (株)アンドー ▪ 地下水解析 (株)東京建設コンサルタント ▪ 水質・大気質調査等 (株)大日本ダイヤコンサルタント				
				R5後半 ～ R6前半

今後、上記のとおり路線測量や環境調査等を実施します。

- ・ 作業は、平日の概ね午前8時～午後5時の間を予定しています。
- ・ 作業時は「測量中」「調査中」等の看板を設置し、作業者は「身分証明証」を携帯します。
- ・ 一時的に土地へ立ち入らせていただく場合がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
(※土地を貸している際は、関係者様にお伝えいただきますようお願いいたします)

今後の現地作業等の予定

概要

- 十分な測量や調査等を行い、現状を把握することで設計や工事計画に反映
- ➡ 今後、以下調査項目の現地作業を予定しています(今後変更となる可能性もあります)

現地作業予定概要 一覧表

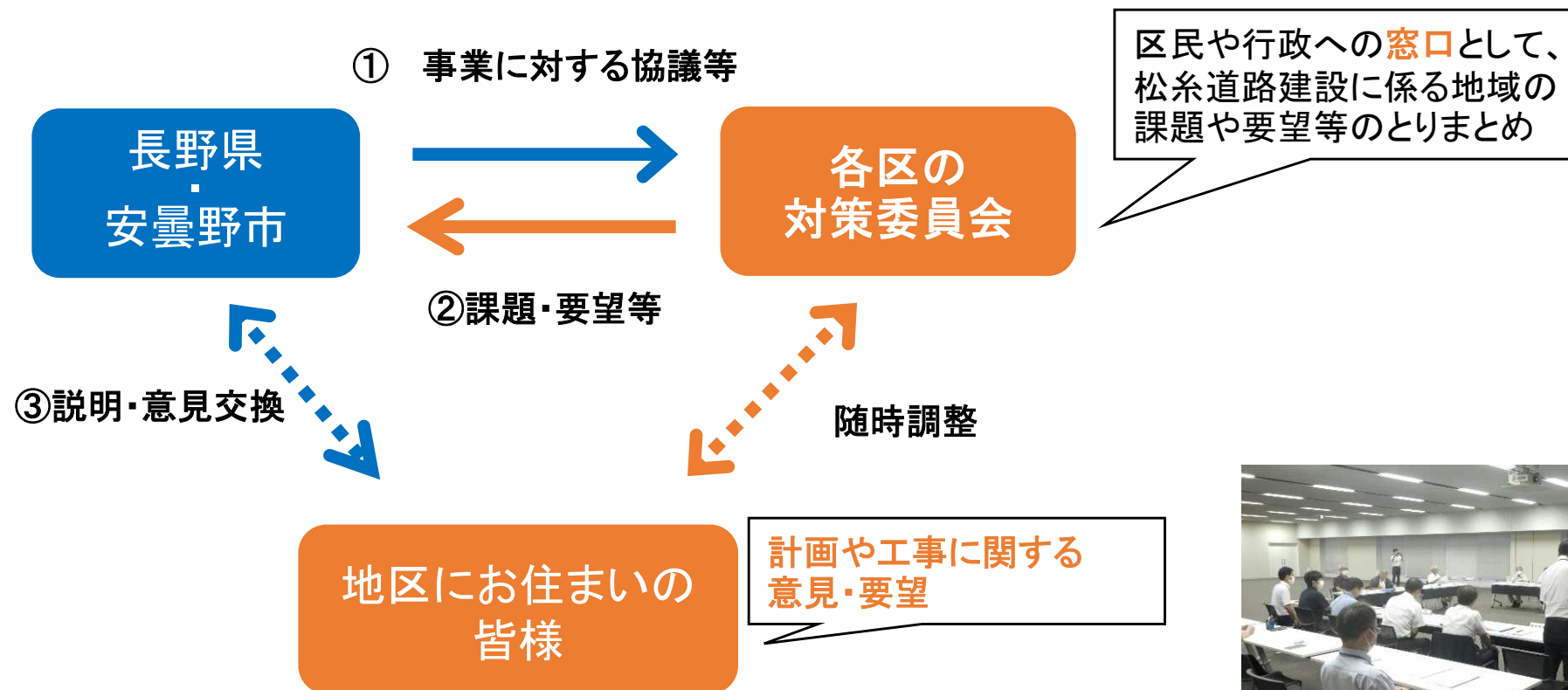
【凡例】○：現地作業あり △：現地確認のみ

項目	作業対象							作業時期				
	豊科光	明科光	宮中	町	狐島	河川内	備考	R5-6 冬	R6春	R6夏	R6秋	備考
路線測量	○	○	○		○	○	安曇野道路から 左右約50mの範囲	■	■			R5.11-R6.1は断続的に実施 R6.2-4のうち約1箇月を予定
動物	○	○	○		○	○	沿道地域	■	■	■	■	各季節1週間程度
植物	○	○	○		○	○	沿道地域		■	■	■	各季節1週間程度
水質		○	○	○	○	○	河川・水路等		■			うち1週間程度
大気質			○		○		官地・公用地内	■		■		各季節1週間程度
騒音	○	○	○		済み		沿道地域		■			うち1週間程度
振動	○	○	○		済み		沿道地域		■			うち1週間程度
日照	△	△	△	△	△	△	沿道地域					現地確認のみ
電波	△	△	△	△	△	△	沿道地域					現地確認のみ
地下水	△	△	△	△	△	△	周辺井戸観測等					現地確認のみ

対策委員会について

大規模な事業で完成までに時間を要することを踏まえ、**道路整備に伴う課題について、それぞれの区で継続的に検討をしていただく必要がある**と考えます。

今後、調査設計、工事を進めていくにあたり、地元の皆さんの生活への配慮、また、道路を地域に活かして頂くことなどについて、**区の意見をお聞きしながら進めていきたい**と考えています。



R5.7.6 区対策委員会連絡会議(県・市・関係区代表者)

(2) アクセス道路等 (市道)

1) 道路計画

※一部IC名等の“仮称”を省いています

アクセス道路等(市道)整備の想定箇所

- ① 安曇野道路と国道19号とを結ぶアクセス道路整備
 - 市道明科4036号線を改良し整備
- ② 安曇野北IC及び豊科出入口周辺の整備
 - すれ違いがしにくい箇所や見通しが悪い箇所の対策
 - 高速バス停利用時の歩行者の安全対策
- ③ その他 耕作道路・生活道路の安全対策
 - ①②に含まれないものについて対策を検討



①安曇野道路と国道19号とを結ぶアクセス道路整備

アクセス道路の考え方

役割

松系道路の整備効果を、明科地域等の活性化に繋げる

＜機能＞ 物流・人流の拠点（駅、工業団地、観光地等）と松系道路をつなぐ
地域から松系道路を使いやすくする

整備効果

- 松系道路へのアクセス性向上
- 救急医療施設への搬送時間短縮
- 物流・観光施設へのアクセス性向上 など

整備路線選定の主なポイント

- 現道を活用した拡幅による改良
- 明科ICと国道19号（幹線道路）を結ぶ路線（相互間のアクセス性）
- 沿線の建物や産業等への影響 など

市道明科4036号線を活用する理由

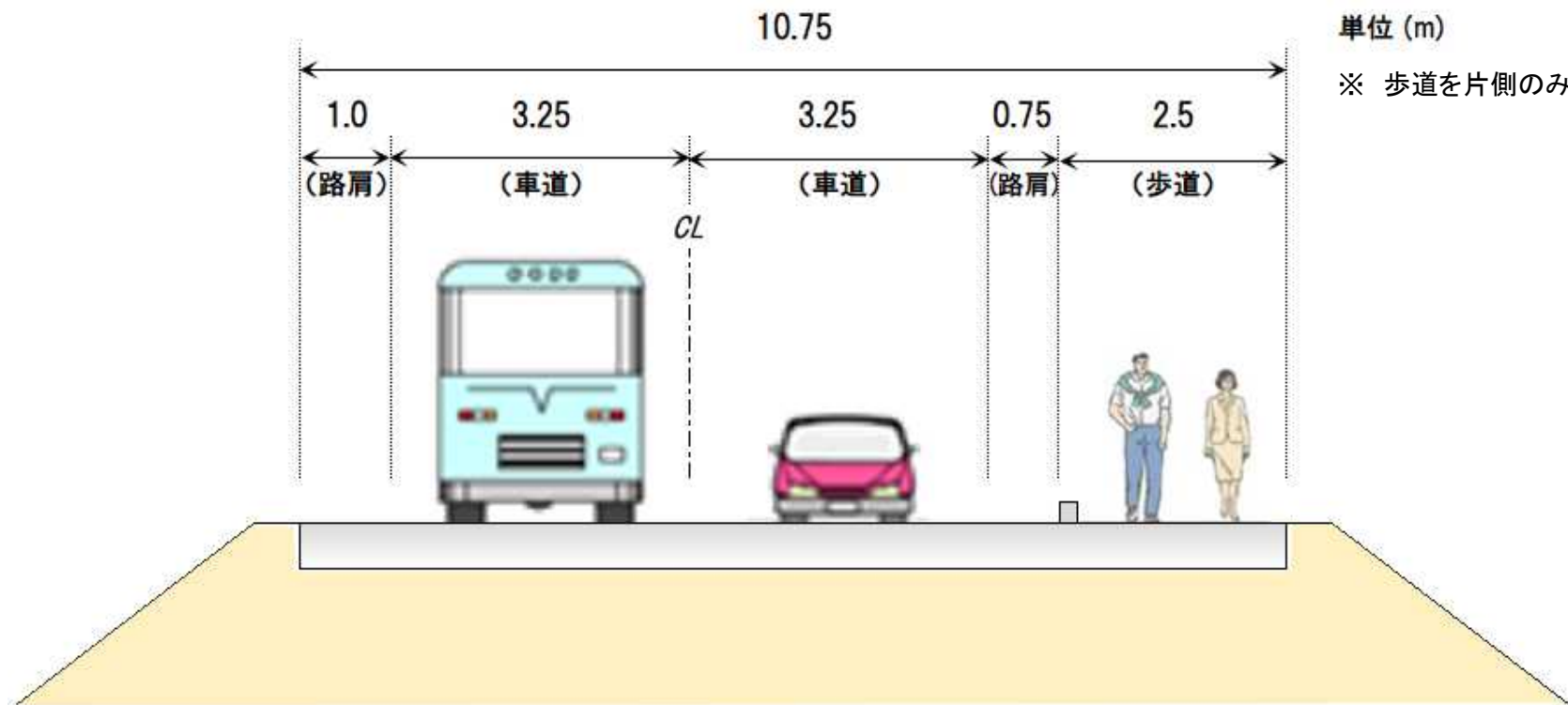
- 松糸道路の整備効果を、明科地域等の活性化に繋げるために、拠点となる駅周辺および明科地域の各地区から、短い距離でアクセスできること
- 現道を活用することにより、効率的に整備することが可能であること
 - ※ 現道の幅員が比較的広く、線形もほぼ直線
 - 拡幅が必要であるが、改良の規模をできるだけ小さくできる
 - 現道の課題(国道19号との出入り、車とのすれ違い、段差)の解決も図られる
- 大規模・代替困難な補償(工場、わさび田、養魚場)を伴わないこと



市道明科4036号線 計画幅員

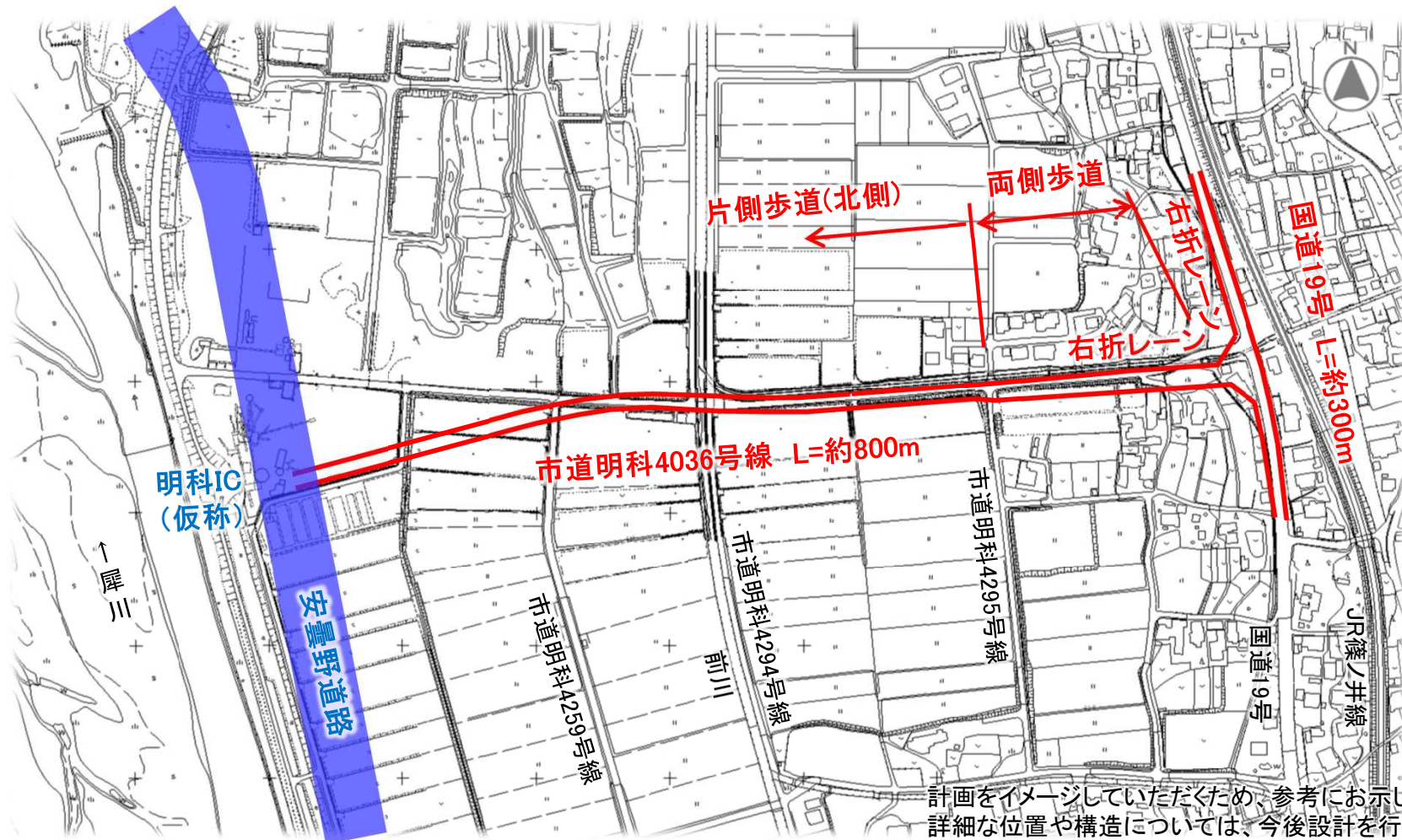


※ 現道の幅、拡幅幅は位置及び道路構造により変わります



市道明科4036号線 設計方針

- 道路線形 現道を活用し拡幅
- 右折レーン 国道交差点部分の国道と市道明科4036号線に設置
- 歩道 住宅が隣接している箇所は両側、その他は片側
- その他 国道交差点部は信号機の設置を検討



計画をイメージいただくため、参考にお示しするものです。
詳細な位置や構造については、今後設計を行っていきます。

②安曇野北IC及び豊科出入口周辺の整備

整備の考え方

- 豊科出入口(主に地元が利用)、高速バス停駐車場
⇒ 利用者は限定的



- 大規模な路線整備は豊科出入口の利用を助長する可能性がある
- 一方で、利用者の利便性・安全性確保のための整備は必要

IC計画地周辺の土地利用方針との関連は

- 土地利用の方針は時間をかけて検討 ⇒ 現時点では考慮しない方針
(理由)
 - 安曇野道路完成後の企業ニーズ等の社会状況を、現時点で見通すことが困難
 - 産業団地は、既存団地の拡張(青木花見及び島新田産業団地)を優先的に進めることとした
- 周辺の農地所有者を対象に実施したアンケート結果は、土地利用方針を決定する際に公表を予定

整備想定箇所

整備箇所検討に向けたポイント

- すれ違いがしにくい箇所や見通しが悪い箇所の対策
⇒部分的な拡幅、線形の改良 など
- 高速バス停利用時の歩行者の安全対策
⇒歩行スペースの確保、安全施設の設置 など

整備想定箇所

- 豊科出入口の市道豊科4038号線接続部における部分的な拡幅
 - 市道豊科4561・4562号線と市道豊科4034号線との交差点の線形改良
- ※高速バス停利用時の歩行者安全対策はバス停駐車場の場所と合わせて検討します



③その他 耕作道路・生活道路の安全対策

課題への対応

- 道路整備により変化する交通に対して、耕作や生活道路の安全対策を検討していく
- 下記のような対策事例などを参考に意見交換を行っていく

事例) 交差点部などのカラー舗装



事例) 標識等の設置



通行規制(時間帯)



幅員減少



事例) 狭さくの設定



通行規制(車種)



注意看板



（２）アクセス道路等（市道）

２）今後の予定

※一部IC名等の“仮称”を省いています

今後の予定について

①市道明科4036号線（明科ICから国道19号へのアクセス）

- 改良設計（影響する国道部分も含む）
- ボーリング調査

②安曇野北IC及び豊科出入口周辺の整備

- 整備が必要な箇所の検討
- 高速バス停駐車場候補地と歩行者安全対策の検討

③その他 耕作道路・生活道路の安全対策

- 対策事例などを参考に意見交換を行っていく

□ それぞれの進捗状況に合わせて地域への説明を行っていきます

参考（パネル展示）

- 地域の皆さまに理解を深めていただくため、下記イベント内でパネル展示を行います
(新たな説明内容等を伴うものではありません)

- 当日午前10時～午後3時は職員が常駐します。
(事業の説明対応等を行います)

- どなたでも参加可能です
(申込は不要です)



参考：当日の実施状況（県安曇野庁舎）

長野県(安曇野建設事務所)プレスリリース 令和5年(2023年)11月2日

学校では教えてくれない!防災の裏側を大公開!!

土木の日に安曇野ぼうけんフェスタを初開催します

台風や大雨がきたとき、みなさんの周りにも危険がかくれています!日頃の防災や災害復旧に、建設の仕事が大いに貢献しています。災害の仕組みや防災に貢献する仕事を学べる、大人も学生もご家族連れでも楽しめる体験型イベントを初開催します。普段は見られない**防災・建設**の世界を冒険しましょう。

- ・建設産業3団体※、南安曇農業高等学校、安曇野市、長野県が連携して開催する初のイベントです。
(※長野県建設業協会安曇野支部、一般社団法人長野県測量設計業協会中信支部、長野県地質ボーリング業協会)
- ・土木の日は、土木の2文字を分解すると**十一**(土)と**十八**(木)になること等から土木学会が制定

日 時 令和5年**11**月**18**日(土曜日) 午前10時から午後3時まで(雨天決行)

場 所 長野県安曇野庁舎・駐車場(安曇野市豊科4960-1)

出展ブース

- ▶ 土砂災害の模型実験 ▶ 黒沢川調節池・砂防堰堤の現場見学
- ▶ 災害復旧でも活躍する建機の試乗体験・ドローン実演
- ▶ 衛星測量で宝探し ▶ 地盤調査機械の展示
- ▶ 南安曇農業高校 環境クリエイト科の進路紹介
- ▶ 松本糸魚川連絡道路のパネル展示
- ▶ スタンプラリー(ラリーとアンケートでイベント限定カードをプレゼント) など

※雨天時は、一部の内容を変更することがあります。



イベントHP

参加申込 参加費無料。現場見学は、**午前の部は事前申込、午後の部はイベント会場で募集**とし、申込方法は安曇野建設事務所ホームページをご覧ください。



お問い合わせ先

○ 長野県 安曇野建設事務所 整備課 計画調査係

電 話 0263-72-8308 (直通)

F A X 0263-72-8882

メール azumiken-matsuito@pref.nagano.lg.jp

○ 安曇野市役所 都市建設部 建設整備課

電 話 0263-71-2330 (直通)

F A X 0263-72-3569

メール kensetsu@city.azumino.nagano.jp

ホームページにも松糸道路の情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

(安曇野建設事務所ホームページ 松本糸魚川連絡道路)

<https://www.pref.nagano.lg.jp/azumiken/matsuito-doro.html>

安曇野道路

